



人生は誰と出会うかで決まるのです ～偶然に見える出会いは、必然～

「人との出会いを大切にしなければならない。」
よく言われます。

では、なぜ、「出会いは大切」なのでしょう？



皆さんのお子さんを例にして考えてみます。お子さんは、今のクラスに在籍し、友達との生活をしています。

当たり前のような今の風景は、実は、ものすごい偶然の積み重ねによって実現したものなのです。例えば、以下のような偶然が積み重なって…。

- 友達と同じ年に生まれたという偶然
同じ年に生まれていなければ、同じ学年にはなりません。ということは、同じクラスにもなれなかったということになります。
- この日光という地で生活している偶然
世界中にたくさんいる同い年の子どもたちの中で友達と同じ日光市で生活している、という偶然がなければ、今の出会いはありません。
- 大室の地で生活しているという偶然
大室小学校区に保護者の皆さんが居住していなければ、あるいは、大室小学校区に転入してこなければ、大室小学校に入学（あるいは転入）できませんでした。

このような偶然が重なったからこそ、今のお子さんのクラスが存在しているのです。これらの偶然のうち一つでも欠けていたら、お子さんの今のクラスは存在せず、お子さんと友達との出会いはなかったこととなります。

大室小学校の今のクラスにお子さんが在籍し、友達と出会って今のクラスがある…、私が天文学的に低い確率であると言ったのは、このような理由からです。

ついでに私の場合も付け加えれば、もし、私が大室小学校に赴任してこなければ、皆様のお子さんとお会うことはなかった…。

出会いはいつも偶然の積み重ねによって成立（実現）しているのだと言えます。

『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』（喜多川泰、サンマーク出版）という本を最近読みました。この本を読んで、私は「出会いの大切さ」について、新しい視点に気付くことができました。

この本のあとがきには、こうあります。

成功したいと願う若者は「そのために何が必要か？」と問われれば、「もっと努力しなければならぬ」と自分に目を向けがちです。一方で、世間からすでに成功者として認められている人が「そうなるために何が必要だったか？」と問われれば、例外なくこう答えるでしょう。

「私の成功は出会いによってもたらされました。出会った人のおかげです」

つまり、幸せも、成功も人が運んでくるもの。

それだけじゃない。その人の持つ無限の可能性を開花させてくれるのも、それにふさわしい人との出会い。

人生は誰と出会うかで決まるのです。

ただ、確かに一つひとつの出会いは偶然起こっているように見えるけれども、「今」という場所から過去をふり返り、一つひとつの出会いを見つめてみると、どれも今の自分を創る上で欠くことのできない必要な要素になっていることに気づかされます。

つまり、すべての出会いが今の自分にとって必要だったからこそ起こったようにも思えるのです。

「偶然に見えるすべての出会いが必然である」。僕はそう思っています。（途中、私の責任において省略してあります。）



「友達を大切にしてください」と、よく子どもたちに言います。指導の重点は「相手の気持ちを考えなさい」というものが多いのでしょうか。そういう指導の重点は、恐らく間違っていないと思います。

ですが、この本は、「友達（人）を大切にする」のは、自分を創ってくれる大切な存在の一人である」という視点を、私に教えてくれました。

私の読後感は、とても爽やかでした。

※「人生、無駄な出会いはひとつもない」ということですね。

今月の がんばる「みどりっ子」たち

みどりっ子活動結団式 (5/23)

今年度も「みどりっ子活動結団式」が行われました。「緑の少年団の結団式」でもあり、今年度は12の縦割りの活動班が結成されました。

各班の班長が前に出て決意を發表した後は、班ごとに遊びを通してふれあいを深めました。これから、サツマイモの苗植え、ふれ合い活動、除草、みどりっ子共遊、サツマイモの収穫などを、この「みどりっ子活動班」で行っていきます。



【班長の決意表明】



【上級生と下級生のふれあい】

ふれあい活動 (6/16)

今年度も地域の老人会の皆様を招待して、ふれあい活動を行いました。子どもたちは、招待者の皆様にサツマイモの苗の植え方や除草の仕方を教わりながら、いろいろなことを話すことができました。1年生も招待者の方々が丁寧に教えてくださったので、苗を上手に植えることができました。

招待者の方と一緒にじゃんけんをしたり、昔のお話を聞いたり、紙飛行機を作って遊んだりして、班ごとに楽しい時間を過ごすことができました。

活動の最後にはお礼の手紙を差し上げて、感謝の気持ちを表すこともできました。



【招待者の皆様と一緒に苗植えや草取り】



【招待者とお話】



【お礼の手紙読む様子】

新体カテスト (6/3, 6/4)

6月3日(火)が1. 3. 6年生、4日(水)が2. 4. 5年生と、2日間に分けて「新体カテスト」を実施しました。6年生は1年生と、5年生は2年生とペアになって、上級生が下級生の面倒を見ながら、体カテストに臨んでいました。こういう姿が見られるところが、縦割り活動の良さですね。

体カテストの結果と記録は、1学期末ごろお知らせできる予定です。



【体育館で上体起こし(左)と反復横跳び(右)】

国際理解週間 (6/9~6/13)

6月9日から13日を「国際理解週間」として、外国の文化に親しむ活動を行いました。

給食では、韓国料理、ブラジル料理、ドイツ料理、ギリシャ料理、私たちの故郷栃木県の料理が出され、子どもたちは毎日、楽しみにしていました。

また、「ワールド集会」では、3年間のドイツでの在外派遣から帰国した本校職員から、ドイツの日本人小学校の様子を写真で紹介してもらい、その後、ドイツの遊び「トップフシューラーゲン(なべたたき)」を代表の児童が体験しました。



【ドイツの学校の様子】



【トップフシューラーゲン】

表彰関係

- 第9回日光市スポーツ少年団
 - ・野球大会 優勝 大室ブルーサンダース
 - ・ホッケー大会 準優勝 大室HC(女子)
3位 大室HC(男子)
 - ・剣道大会 団体戦準優勝 福田凌平
- 全日本空手道連盟系東会空手道選手権大会
 - 1~2年組み手の部準優勝 1~3年型の部3位 T. H
 - 1~2年型の部敢闘賞 W. Y
 - 4~6年型の部準優勝 N. Y